

平成 25 年度事務事業評価調査

事業コード	01060303	区	分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	下水道使用料徴収事業	担当部署名	上下水道課			
		作成責任者職氏名	課長 猪久保 真一	内線	410	
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)			
	01安全・安心・環境	06生活排水対策の推進	03管渠・ポンプ施設の維持管理			
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	下水道法		義務付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>公共下水道使用者より使用料を徴収する。</p> <p>②内容</p> <p>村下水道条例に基づいた使用料の徴収を行う。(基本的には水道料金と同時に徴収するため、水道係に委託している。)</p>	<p>公共下水道に接続し、下水道を使用している者</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>使用料を徴収することにより、下水道施設の適正な維持管理や経営を行う。</p>	<p>使用料滞納者への徴収の強化</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		4,423	4,518	4,366	4,518	4,500		
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源		4,423	4,518	4,366	4,518	4,500		
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	555	555	555	555	555		
総コスト費(千円)(A+C)		4,978	5,073	4,921	5,073	5,055		
人口あたりコスト(円)		821	837	812	837	834		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	使用料収納率	%	95	97.6	103%	95	95
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 103% / 1 = 103% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証

評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	下水道施設の維持管理のための財源として貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	2 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	下水道施設の適正な維持管理が図れている。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	水道料金と同時に賦課・徴収するため、事務の効率化が図れている。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	2 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	受益と負担の観点から公平である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16) **10** / 16 **63%** (B)

(2)検証結果

目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
103%	63%	83%	b

a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)
 b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)
 c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性

①改善の方向性(自己評価)

B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
---	---------------------------------------

②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等

下水道建設費の一部を担う財源確保であり、引き続き実施する。

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果

下水道建設費の一部を担う財源確保であり、受益と負担の関係からも、引き続き実施すべきと考える。	B	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
--	---	---

(2)第三者による有識者会議結果

/	/	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
---	---	---

(3)行政経営戦略会議結果

下水道建設費の一部を担う財源確保であり、受益と負担の関係からも、引き続き実施すべきと考える。	B	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
--	---	---